

1-4 他の児童生徒への説明

アレルギー疾患を有する児童生徒が安心して安全な学校生活を送ることができるようにするためには、他の児童生徒からの理解を得ながら進めていくことが重要です。その際、他の児童生徒の発達段階などを総合的に判断し、保護者・本人の意向や人権・プライバシーに配慮しながら説明するようにします。

他の児童生徒への説明内容（例）

アレルギー疾患への理解	誰にでも起こる可能性がある病気である
	好き嫌いや偏食とは異なる
	人によっては生命の危険に関わる
	症状の出現を予防できる
	緊急時の処方薬がある
アレルギー症状の出現時への理解	近くにいる教職員に助けを求める
	症状出現時には処方薬を用いる
	緊急時には教職員の指示に従う

啓発資料

「アレルギーポータル アレルギーの本棚」 日本アレルギー学会／厚生労働省

<https://allergyportal.jp/bookend/>

【参考資料（一部抜粋）】

『子ども向け啓発用ツール「ぜんそくの発作をふせごう！～コナン下敷き」』

独立行政法人 環境再生保全機構

https://www.erca.go.jp/yobou/pamphlet/form/00/archives_1020.html

